

海外安全対策情報平成28年度第2四半期（7月～9月）

1 社会・治安情勢

- (1) 当国における殺人事件および強盗事案が近年増加傾向にあります。平成28年度は干魃の影響による食糧生産の低下により、食糧不足の深刻化、メイズを含む穀物類の食糧価格及び物価の上昇が見込まれており、国民の生活が圧迫されることで、盗難や強盗等の発生件数が増加する可能性が懸念されます。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 邦人被害事案

- (ア) 8月3日午前8時～午後12時頃の間、在留邦人が首都からブランタイヤにバスで向かう途中、助手席で居眠りしたところ上着ポケットに入れていた携帯電話を盗難されました。
- (イ) 9月20日午後4時頃、在留邦人がリロングウェ市エリア2の道路に路上駐車し運転手と買物から戻ったところ、車両内に保管していた携帯電話、カメラを盗難されました。車両の施錠確認は実施していましたが、こじ開けられた形跡はありませんでした。なお、当国においては、車両のドアハンドルにコインを挟み、同状況では施錠の際に鍵が掛からず、未施錠に気づかない車両内の物品を盗難する手法が横行しています。

(2) 邦人以外の被害事案

- (ア) 特にありません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件の発生情報はありません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は良好であるため、現時点では日本企業であることを理由に問題となる情報はありません。